

町内小中学生に感謝状

八月十一日（金）に、先日行われた全国川サミットin揖斐川 徳山ダムふるさと湖底コンサートで大合唱をはじめ多くの感動を与えてくれた町内の小中学生に宗宮町長から表彰状と記念品が贈られました。

このイベントでは、町内小学生がダム堤体にロック材を積み上げ、中学生により「走る川」や「大地讃頌」の大合唱が行われました。また大合唱の最後には、訪れた皆さんや小学生、由紀さおりさん、安田祥子さん姉妹も参加し「ふるさと」を歌いました。

参加された小中学生の皆さん素晴らしい感動をありがとうございました。

平成18年度岐阜県海外派遣事業

九月五日（火）、春日小宮神の小寺とめさんが百歳の誕生日を迎えられ、宗宮町長より長寿のお祝いと褒賞金が贈られました。

小寺さんは、ほとんど医者にかかられたことがないそうで、また食事もご家族と同じものを何でもおいしいと言って食べられ大変お元気だそうです。小寺さんは、「皆のおかげで健康で過ごせて、感謝しています」と話されました。

これからも健康に気をつけお元気でお過ごしください。



小寺さんおめでとうございます



中学生議会開会

八月十一日（金）、町議会本会議場で町内の七つの中学校の代表生徒が集まり中学生議会が開かれました。

議会では、昨年制定された揖斐川町中学生憲章への取り組みについての発表に続き、郷土の自然環境や地域間の交流など中学生の視点から見た町行政についての一般質問も行われました。

入賞おめでとうございます

八月二十六日、二十七日に富山県で行われた「中部日本卓球選手権大会」で準優勝を収められた竹中宏旭さんが宗宮町長を訪ね入賞の報告をされました。

竹中さんは大会での感想について「決勝で戦った選手はこれまで何回か対戦し、勝ったり負けたりするよいライバルで今回は負けただけ次は勝ちたい」と話しました。

これからのますますのご活躍とご健闘をお祈りします。

海外派遣で多くの経験を味わった

平成十八年度岐阜県青年海外派遣事業インド派遣団に参加した、揖斐川町青年団の小林慎也さんが、九月六日（水）に帰国報告のため来庁されました。

八月下旬から九月上旬の十日間、現地で貧困地域の自立支援事業を行っているNPOに同行し、貴重な体験をされました。

小林さんは「この体験で、積極的に常に向上心をもって行動していけば、無限の可能性があると学びました」と話されました。



宗宮町長に報告する小林さん



竹中さんおめでとうございます



活発な議論が交わされました

三倉の太鼓踊披露

八月十五日(火)に久瀬地区三倉の峯神社で、県の重要無形文化財に指定されている三倉の太鼓踊が披露されました。

この踊りの由来は、鎌倉時代に始まったと言われ、源氏の武将たちが戦の出陣や、戦に勝利したときの祝いに踊られたものと伝えられています。

真夏の暑い日ざしの中、四mあまりのシナイを波打たせる勇壮な太鼓踊りと、鉦を打ちザイを振る子供たちの踊りに県内外から多くの方々が訪れました。

谷汲山お十七夜コンサート開催

八月十七日(木)、谷汲山華厳寺のお十七夜の行事に合わせて、境内・放生池前でお十七夜コンサートが谷汲門前街並づくり委員会主催で開催されました。

コンサートは、揖斐川町の森三恵子さんプロデュースのJack in the Boxによるピアノと管楽器によるアンサンブル演奏のほか二胡や琴の演奏が行われ、子どもから年配の方まで約五百人の来場者は、石燈籠のほのかな灯りによる夏の夜のファンタジーな演奏に聞き入りました。

また、当日は門前の参道には竹灯籠が置かれ谷汲山までの道中を演出しました。



幻想的な雰囲気の中での演奏



勇壮な三倉の太鼓踊

赤白電車を押そう

八月二十日(日)、谷汲徳積の旧名鉄谷汲駅で「赤い電車友の会」主催で赤白電車(名鉄モ510形)を押してホームに入れるイベントが開催されました。

会場では宗宮町長が運転士に扮し、出発の合図で四百人以上の会員、親子連れが力いっぱい終着ホームに手押しして、無事ホームに着きました。

ミニSLと電動カートに乗ろう

八月十九日(土)、二十日(日)に谷汲門前街並づくり委員会主催で「ミニSLと電動カートに乗ろう」イベントが谷汲昆虫館広場で開催されました。

ミニSLは、実物と同じ原理で石炭を燃料とし蒸気機関で走行し、大人も子供も楽しく乗れました。なお、両日谷汲昆虫館に入場者先着五十人の小学生以下の方にカブトムシが無料配布され、このプレゼントには子供たちは大喜びでした。

・なつかしのおもちゃ展盛況

七月二十二日から谷汲昆虫館で開催された谷汲門前街並づくり委員会主催の、夏休み特別企画展「昭和三十年代くなつかしのおもちゃ展」が八月三十一日に無事終了しました。期間中は、「鉄腕アトム」などのなつかしいおもちゃや宣伝人形、菓子箱などが展示され、来館者は「これ知ってる。持っていた。食べた。懐かしいな」など、皆さん昭和の時代にタイムスリップしたようでした。



親子連れでにぎわうミニSL



大勢の人々に押される赤白電車

久瀬診療所改築工事安全祈願祭

久瀬診療所の改築工事安全祈願祭が八月三十一日（木）に施工者により東津波地内で行われました。

建物の概要は鉄筋コンクリート三階建て、建築面積は四九二・六三㎡、延べ一二八四・七四㎡。事業費は総額約三億七千万円、一階は診療所、二階は診療所、研修施設、保健福祉医療連携室、三階は健康増進室です。

地域住民の皆さんが安心して医療が受けられるよう地域医療の充実を図るとともに、疾病予防、健康増進を目的とした、揖斐川町北西部の医療健康増進の拠点施設として建設するものです。完成は平成十九年春の予定です。

水道施設を美しく 清掃奉仕作業

八月二十四日（木）、揖斐川町の水道工事店有志十六社によって、揖斐川地区の水道施設の清掃奉仕作業が行われました。

この奉仕作業は毎年行われており、十六事業所から各一名の十六名が参加し早朝からお昼まで水道施設やその周辺の草刈りや植栽の枝打ち作業に汗を流しました。

施設周辺がとてもきれいになりました。参加された皆さんありがとうございました。



参加された皆さんお疲れさまでした



工事が無事終わりますように

長瀬保育園・落ち鮎つかみ取り体験

八月三十日（水）、長瀬保育園児三十五名が清流根尾川（谷汲長瀬地内）に掛けられたやな床で『落ち鮎つかみ取り』を体験しました。

これは内藤嘉治さん（大野町）と高橋典雄さん（本巣市）のご厚意により例年実施していただいているもので、この日はあいにく小雨の降る日となりましたが園児たちは水着に身を包み大歓声を上げて放流された鮎の手掴みの感触を楽しみました。生きた鮎を大切に扱う様子や、途中突然かかるがも親子の登場もあり、まさに生きた自然に触れ合う貴重な体験となりました。

谷汲地区・サンサンサポート隊発足

幼い子どもの命が無軌道な大人の手で奪われてしまう昨今、「これではいけない、自分たちでも何かできないか」という声が上がりが各地域の代表者のもと約百三十名の皆さんがボランティアとして自主的に活動を始めました。そして今年春、正式に「谷汲サンサンサポート隊」として立ち上げ、毎日交代で小中学生の登下校時の見守りを実施しています。今後も「子どもは地域の宝」として地道に活動を続けていきたいとおっしゃっていました。



サンサンサポート隊の皆さんよろしくお祈りします



やなで落ち鮎つかみを楽しみました